

世界セレクトティブ株式オープン

運用報告書（全体版） 第2期

（決算日 2021年4月26日）
（作成対象期間 2020年4月28日～2021年4月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2019年4月17日～2024年4月25日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

設定以来の運用実績

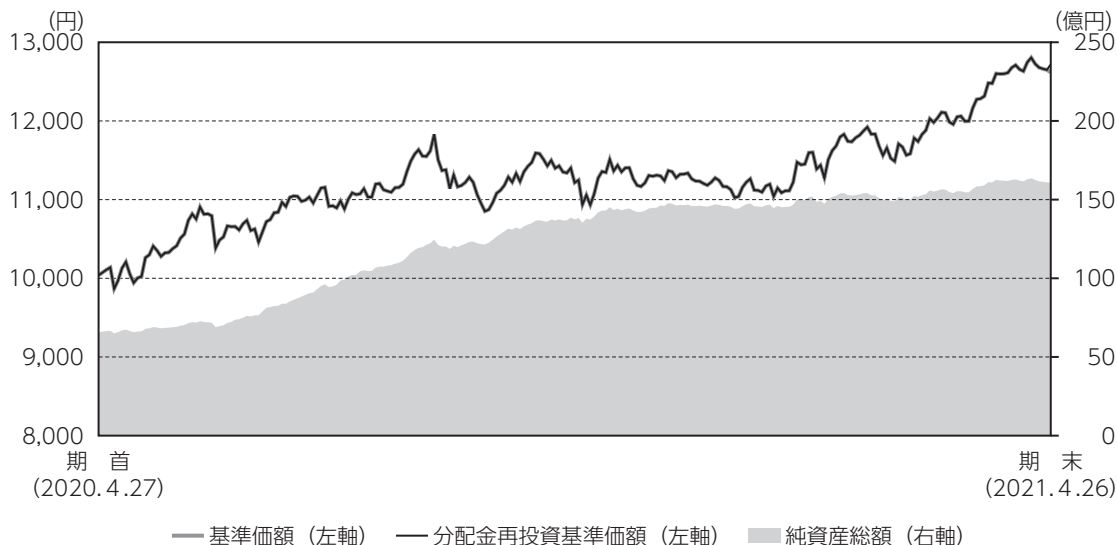
決 算 期	基 準 価 額			M S C I コクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
1 期末(2020年 4 月27日)	円 10,039	円 0	% 0.4	8,984	% △10.2	% －	% 98.3	百万円 6,582
2 期末(2021年 4 月26日)	12,619	100	26.7	13,651	52.0	－	98.9	16,085

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、M S C I Inc.の承諾を得て、M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc.に帰属します。またM S C I Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：10,039円

期 末：12,619円（分配金100円）

騰落率：26.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスワクチンの開発進展に伴う経済活動の正常化期待や、米国バイデン政権下での大型経済対策期待などを背景に、海外先進国株式市況が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年 4 月27日	円 10,039	% －	8,984	% －	% －	% 98.3
4 月末	10,108	0.7	9,310	3.6	－	98.3
5 月末	10,412	3.7	9,706	8.0	－	98.5
6 月末	10,590	5.5	9,892	10.1	－	95.5
7 月末	10,881	8.4	10,205	13.6	－	96.1
8 月末	11,553	15.1	11,001	22.5	－	96.6
9 月末	11,119	10.8	10,567	17.6	－	96.9
10月末	11,057	10.1	10,271	14.3	－	97.5
11月末	11,301	12.6	11,457	27.5	－	97.5
12月末	11,222	11.8	11,785	31.2	－	97.9
2021年 1 月末	11,437	13.9	12,036	34.0	－	99.1
2 月末	11,526	14.8	12,464	38.7	－	98.7
3 月末	12,283	22.4	13,262	47.6	－	99.2
(期末) 2021年 4 月26日	12,719	26.7	13,651	52.0	－	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.4.28～2021.4.26)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は上昇しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市場は、当作成期首より2020年8月末にかけて、各国の大胆な景気刺激策や経済活動の再開期待、新型コロナウイルスワクチン開発への期待などから上昇しました。その後9月に入ると、高値警戒感や欧州でのウイルス感染拡大による行動制限を嫌気したことなどから、下落基調へと転換しました。11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となり、選挙に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待から上昇しました。2021年1月末から当作成期末にかけては、金利上昇に伴い軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から堅調な展開になり、当作成期は大幅な上昇となりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安米ドル高）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年12月末にかけて、緩和的な金融環境から米国の実質金利が低下したことなどが米ドルの下落要因となり、円高米ドル安基調で推移しました。また、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念、米中関係の動向や追加経済対策をめぐる不透明感なども米ドル安要因となりました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府・連邦議会上下両院を制したことやワクチンの実用化などから市場のリスク選好姿勢が高まり、円安米ドル高となりました。また、F R B（米国連邦準備制度理事会）関係者からの量的緩和政策の縮小時期をめぐる発言が、米国の金利上昇とともに米ドル買いにつながったことも米ドルの上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、MF Gグローバル株式ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.4.28～2021.4.26)

■当ファンド

当ファンドは、MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、MF Gグローバル株式ファンドの投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。当作成期首は景気・市場見通しにおける不透明性から資産の保全に配慮し、キャッシュ保有比率を高めにしていましたが、新型コロナウイルスワクチンの開発進展や米国バイデン政権の政策を踏まえ、投資機会を見極めながらキャッシュ保有比率を引き下げ、株式保有比率を高めました。組入銘柄では、コロナ禍の社会変化が追い風となる銘柄の新規組み入れや保有比率引き上げを行いました。

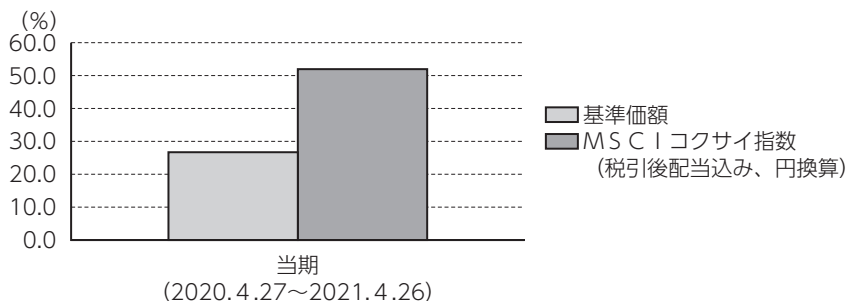
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年4月28日 ～2021年4月26日	
当期分配金（税込み）（円）	100	
対基準価額比率（％）	0.79	
当期の収益（円）	100	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	2,619	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,938.87
(c) 収益調整金		780.72
(d) 分配準備積立金		0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,719.59
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,619.59

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

MF Gグローバル株式ファンドとダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、MF Gグローバル株式ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

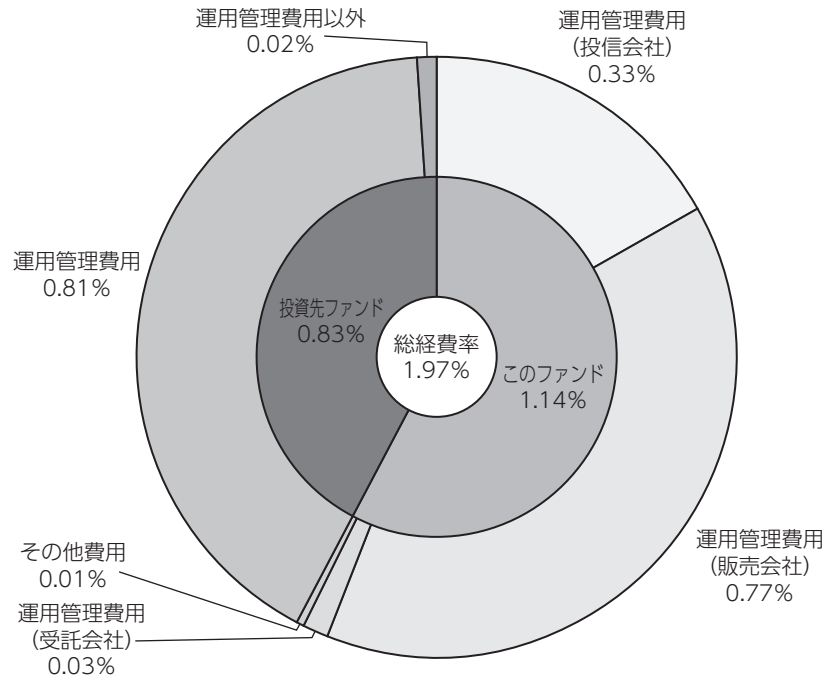
項 目	当期 (2020.4.28～2021.4.26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	127円	1.124%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,288円です。
(投 信 会 社)	(37)	(0.329)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(87)	(0.768)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	128	1.133	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.97%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年4月28日から2021年4月26日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	アンカーMFG グローバル株式 ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関 投資家専用)	6,375,763.634	7,177,000	557,626.997	691,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	12,208,471.877	15,914,963	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	15,914,963	97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	448,913	2.7
投資信託財産総額	16,363,878	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年4月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	16,363,878,854円
コール・ローン等	248,913,917
投資信託受益証券(評価額)	15,914,963,938
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	999
未収入金	200,000,000
(B) 負債	278,566,338
未払収益分配金	127,465,082
未払解約金	66,634,318
未払信託報酬	83,853,342
その他未払費用	613,596
(C) 純資産総額(A－B)	16,085,312,516
元本	12,746,508,242
次期繰越損益金	3,338,804,274
(D) 受益権総口数	12,746,508,242口
1万口当り基準価額(C／D)	12,619円

* 期首における元本額は6,557,060,944円、当作成期間中における追加設定元本額は8,361,267,692円、同解約元本額は2,171,820,394円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,619円です。

■損益の状況

当期 自2020年4月28日 至2021年4月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 73,914円
受取利息	10,599
支払利息	△ 84,513
(B) 有価証券売買損益	2,739,492,776
売買益	2,957,477,266
売買損	△ 217,984,490
(C) 信託報酬等	△ 140,022,018
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,599,396,844
(E) 前期繰越損益金	△ 128,085,920
(F) 追加信託差損益金	994,958,432
(配当等相当額)	(△ 187,268)
(売買損益相当額)	(995,145,700)
(G) 合計(D + E + F)	3,466,269,356
(H) 収益分配金	△ 127,465,082
次期繰越損益金(G + H)	3,338,804,274
追加信託差損益金	994,958,432
(配当等相当額)	(△ 187,268)
(売買損益相当額)	(995,145,700)
分配準備積立金	2,343,919,756
繰越損益金	△ 73,914

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,471,384,838
(c) 収益調整金	995,145,700
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,466,530,538
(f) 分配金	127,465,082
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,339,065,456
(h) 受益権総口数	12,746,508,242口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年4月26日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年4月28日～2021年4月26日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2021年4月26日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（45,659,146千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2021年4月26日現在			
	評	価	額	比 率
			千円	%
国内短期社債等			999,989	<2.2>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第16期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

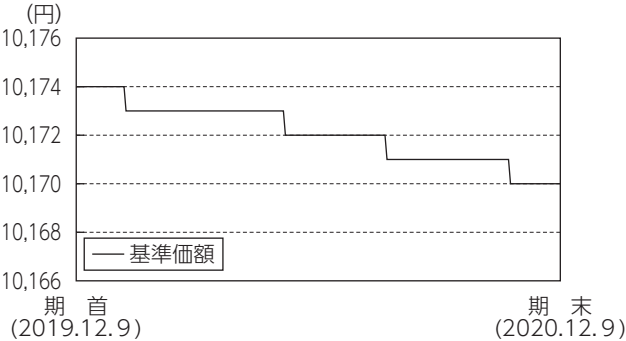
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2019年12月9日	10,174	—	—
12月末	10,174	0.0	—
2020年 1 月末	10,173	△0.0	—
2 月末	10,173	△0.0	—
3 月末	10,173	△0.0	—
4 月末	10,173	△0.0	—
5 月末	10,172	△0.0	—
6 月末	10,172	△0.0	—
7 月末	10,172	△0.0	—
8 月末	10,171	△0.0	—
9 月末	10,171	△0.0	—
10月末	10,171	△0.0	—
11月末	10,170	△0.0	—
(期末)2020年12月9日	10,170	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,174円 期末：10,170円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】
コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

その他有価証券

(2019年12月10日から2020年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
	千円	千円
国内短期社債等	242,997,393	242,997,453 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,970	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	68,466,438	100.0
投資信託財産総額	68,466,438	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	68,466,438,583円
コール・ローン等	67,466,468,172
現先取引(その他有価証券)	999,970,411
(B) 負債	1,000,488,000
未払解約金	1,000,488,000
(C) 純資産総額(A－B)	67,465,950,583
元本	66,337,383,629
次期繰越損益金	1,128,566,954
(D) 受益権総口数	66,337,383,629口
1万口当り基準価額(C／D)	10,170円

* 期首における元本額は82,259,129,638円、当作成期間中における追加設定元本額は106,172,802,530円、同解約元本額は122,094,548,539円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用) 531,632,690円、ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 4,718,749,101円、ダイワ・グローバル10年連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバル10年連株ファンド－AⅠ新時代－ (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ／“R I C I”[®] コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし／年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード99,008,902円、堅実バランスファンド－ハジメの歩－569,302,583円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／毎月分配型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／毎月分配型) 983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,455,466,034円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－1,988,495円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 37,213,381,442円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 12,502,578,661円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 5,944,161,915円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSM A専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ

ノアムディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ47,833,280円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付／部分為替ヘッジあり) 224,685,913円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ979,761円、DCスマート・アロケーション・Dガード11,929,087円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,170円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 26,744,855円
受取利息	309,257
支払利息	△ 27,054,112
(B) その他費用	△ 610,483
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 27,355,338
(D) 前期繰越損益金	1,431,737,066
(E) 解約差損益金	△2,104,683,137
(F) 追加信託差損益金	1,828,868,363
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	1,128,566,954
次期繰越損益金(G)	1,128,566,954

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間		追加型信託／海外／株式 無期限
運用方針		アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用 対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法		1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーフンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル
株式ファンド
(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）
第2期（決算日 2021年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2021年4月1日に第2期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ 仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

≪アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）≫

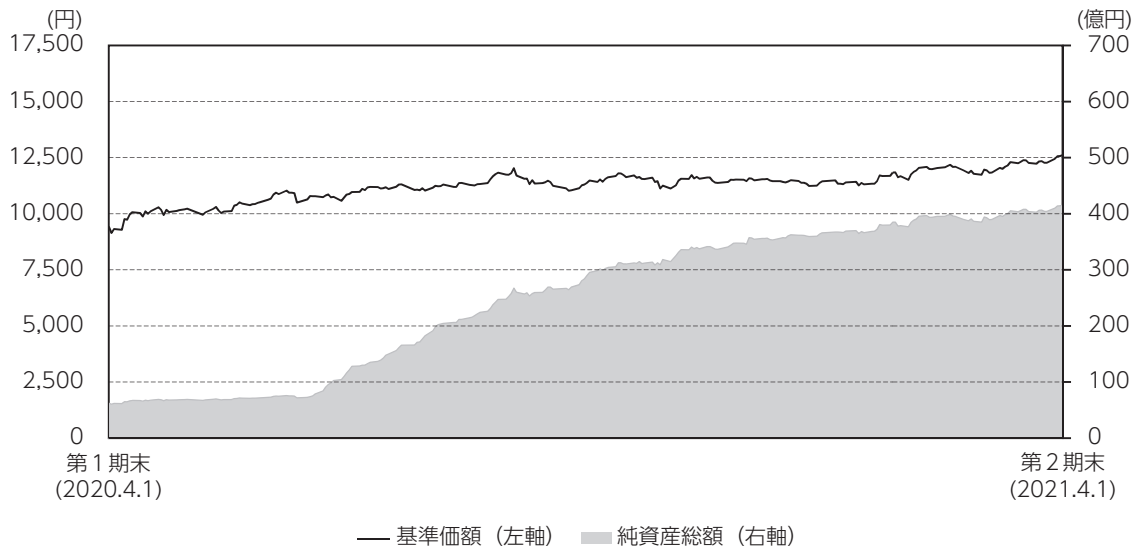
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率			
（設 定 日） （2019年4月18日）	円 10,000	円 －	% －	10,000	% －	% －	% －	百万円 746
1 期（2020年4月1日）	9,436	0	△5.6	8,344	△16.6	79.1	3.7	6,228
2 期（2021年4月1日）	12,607	0	33.6	13,355	60.0	90.5	3.8	41,518

（注）参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：9,436円
期 末：12,607円
騰落率：+33.6%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	32.1%

■基準価額の主な変動要因

株式および為替がともにプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービス、情報技術セクターでの保有銘柄が大きく値上がりしたことがプラス要因となりました。米ドル円相場も円安米ドル高となりプラス寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2020年4月1日	円 9,436	% －		% －	% 79.1	% 3.7
4月末	10,199	8.1	9,330	11.8	78.5	3.7
5月末	10,520	11.5	9,726	16.6	79.0	3.9
6月末	10,716	13.6	9,913	18.8	77.3	3.8
7月末	11,031	16.9	10,227	22.6	78.5	3.7
8月末	11,745	24.5	11,025	32.1	83.7	3.5
9月末	11,307	19.8	10,589	26.9	84.4	3.6
10月末	11,251	19.2	10,292	23.3	84.7	3.5
11月末	11,516	22.0	11,481	37.6	87.1	3.6
12月末	11,444	21.3	11,810	41.5	88.7	3.5
2021年1月末	11,677	23.7	12,062	44.6	89.5	3.5
2月末	11,779	24.8	12,491	49.7	91.0	3.6
3月末	12,574	33.3	13,290	59.3	90.5	3.7
(期 末) 2021年4月1日	12,607	33.6	13,355	60.0	90.5	3.8

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて大幅に上昇しました。期初、新型コロナウイルス感染拡大鈍化の兆しや米連邦準備制度理事会（F R B）による新たな資金供給策の発表などを受けて、急反発して始まりました。その後は、経済活動再開やワクチン開発・実用化への期待、米経済指標の改善などを背景に、9月初にかけて続伸する展開となりました。期の半ばには一時、ハイテク銘柄での利益確定の動き等が重しとなりましたが、11月上旬、米国大統領選での民主党バイデン候補の勝利や、新型コロナワクチンの早期実用化観測の強まりから急反発するなど、再度上昇基調を強めました。その後期末にかけても、ワクチン接種の開始や進展に伴う経済正常化期待、米バイデン政権下での大型経済対策期待などが、相場上昇を後押ししました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期初から2021年初にかけては、新型コロナウイルス感染拡大第2波への警戒感、パウエルF R B議長によるゼロ金利政策維持発言や追加金融緩和観測の浮上などを背景に、概ね円高ドル安基調で推移しました。その後期末にかけては、ワクチン接種の進展に伴う経済正常化期待や米バイデン新政権下での大型経済対策期待、米国金利の上昇などを背景に、米ドルが大幅続伸しました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

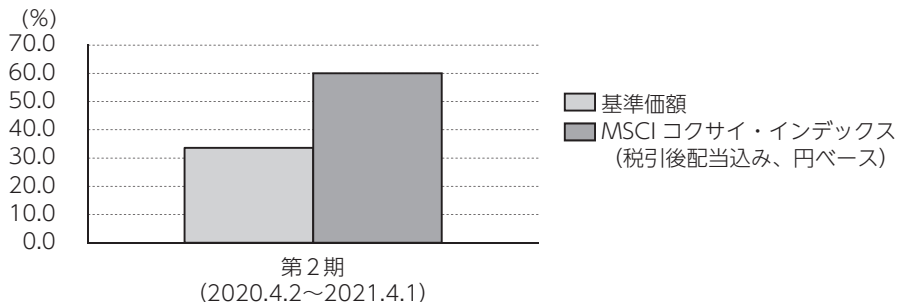
○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。期初、景気・市場見通しにおける不透明性から資産の保全に配慮し、保有するキャッシュの比率を高めとしましたが、新型コロナウイルスワクチンの開発進展や米バイデン政権の政策を踏まえ、景気・市場見通しの不透明性が低下していると見て、投資機会を見極めながら、キャッシュ保有比率を引き下げ、株式保有比率を高めました。株式組み入れ銘柄では、コロナ禍の社会変化が追い風となる銘柄の新規組入や保有比率引き上げを行うと同時に、生活に不可欠なサービス・商品を提供し下値に強いディフェンシブ銘柄の保有比率を引き上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させて頂きます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年4月2日 ～2021年4月1日	
当期分配金（税込）（円）	0	
対基準価額比率（％）	－	
当期の収益（円）	－	
当期の収益以外（円）	－	
翌期繰越分配対象額（円）	2,606	

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

引き続き、ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオ構築を行います。景気・市場見通しの不透明性は低下していると見て、保有するキャッシュ比率を従来より低位とする方針です。ただし、新型コロナ変異種の拡大、市場の過熱感から、資産保全への一定の配慮を継続します。中長期的な保有銘柄の持続可能な競争優位性に対する見方に変更はありません。保有銘柄の多くは、テクノロジー・プラットフォームの拡大、キャッシュレス社会への移行、新興国での消費拡大、生活に必要な不可欠なサービス・商品への底堅い需要、高齢化する人口動態などから恩恵を受けると考えられます。

1万円当りの費用の明細

項 目	第2期		項 目 の 概 要
	(2020.4.2～2021.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	93円	0.825%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,313円です。
(投信会社)	(89)	(0.785)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(1)	(0.011)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	6	0.051	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(6)	(0.051)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	2	0.021	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	
合 計	101	0.897	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2020年4月2日から2021年4月1日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	26,370,516	30,031,850	494,498	584,324

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年4月2日から2021年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	33,658,686千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	25,149,212千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.33

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2021年4月1日現在)

	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	6,554,978	32,430,995	41,595,994

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	41,595,994	100.0
コール・ローン等、その他	12	0.0
投資信託財産総額	41,596,006	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.84円、1スイスフラン=117.32円、1英ポンド=152.75円、1香港ドル=14.26円、1ユーロ=130.00円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(44,772,351千円)の投資信託財産総額(44,852,171千円)に対する比率は99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	41,596,006,301円
コール・ローン等	11,467
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	41,595,994,834
(B) 負債	77,102,333
未払信託報酬	76,552,333
その他未払費用	550,000
(C) 純資産総額(A－B)	41,518,903,968
元本	32,933,545,437
次期繰越損益金	8,585,358,531
(D) 受益権総口数	32,933,545,437口
1万口当り基準価額(C／D)	12,607円

* 期首における元本額6,600,720,362円、当期中における追加設定元本額26,719,995,569円、同解約額387,170,494円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.2607円です。

■損益の状況

当期(自2020年4月2日 至2021年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	5,880,264,750円
売買益	5,919,928,929
売買損	△ 39,664,179
(B) 信託報酬等	△ 207,427,039
(C) 当期損益金(A＋B)	5,672,837,711
(D) 前期繰越損益金	△ 436,829,866
(E) 追加信託差損益金	3,349,350,686
(配当等相当額)	(87,187,710)
(売買損益相当額)	(3,262,162,976)
(F) 合計(C＋D＋E)	8,585,358,531
次期繰越損益金(F)	8,585,358,531
追加信託差損益金	3,349,350,686
(配当等相当額)	(103,297,773)
(売買損益相当額)	(3,246,052,913)
分配準備積立金	5,236,007,845

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額256,879,472円(1万口当り77.98円)、有価証券売買等損益4,966,362,928円(1万口当り1,508.00円)、収益調整金額3,349,350,686円(1万口当り1,017.01円)及び、分配準備積立金12,765,445円(1万口当り3.88円)から分配対象収益額は8,585,358,531円(1万口当り2,606円)となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2020年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2021年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（34,969,708千口）の内容です。

(2021年4月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
YUM! BRANDS INC	316	1,422	15,386	1,705,409	消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A	122	251	7,325	812,006	化粧品・パーソナル用品
MCDONALDS CORP	98	424	9,520	1,055,235	消費者サービス
MICROSOFT CORP	345	1,237	29,168	3,233,091	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	461	2,132	14,184	1,572,227	公益事業
PEPSICO INC	156	1,163	16,453	1,823,717	食品・飲料・タバコ
STARBUCKS CORP	554	2,035	22,246	2,465,850	消費者サービス
NETFLIX INC	-	334	17,470	1,936,418	メディア・娯楽
MASTERCARD INC - A	90	400	14,272	1,582,016	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	192	840	17,785	1,971,371	ソフトウェア・サービス
HCA HEALTHCARE INC	177	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	240	788	23,221	2,573,852	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	-	1,444	16,129	1,787,743	各種金融
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	235	902	20,471	2,269,080	小売
EVERSOURCE ENERGY	216	1,544	13,376	1,482,652	公益事業
ALPHABET INC-CL A	4	17	3,627	402,124	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	32	115	23,803	2,638,404	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	212	1,450	13,572	1,504,336	公益事業
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	3,458 16銘柄	16,506 17銘柄	278,018 30,815,538	<68.7%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	387	1,777	14,354	1,684,016	医薬品・ヘルスケア
NESTLE SA-REG	272	1,168	12,312	1,444,484	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	659 2銘柄	2,945 2銘柄	26,666 3,128,500	<7.0%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	205	1,318	13,764	1,789,322	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	205 1銘柄	1,318 1銘柄	13,764 1,789,322	<4.0%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	58	89	5,103	663,495	耐久消費財・アパレル
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	58 1銘柄	89 1銘柄	5,103 663,495	<1.5%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
HEINEKEN NV	90	-	-	-	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	90 1銘柄	-	-	<-%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(ベルギー)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	183	-	-	-	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	183 1銘柄	-	-	<-%>
ユーロ計	株 数・金額 銘柄数<比率>	538 4銘柄	1,407 2銘柄	18,867 2,452,817	<5.5%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
TENCENT HLDG LTD	383	2,567	156,619	2,233,400	メディア・娯楽
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	383 1銘柄	2,567 1銘柄	156,619 2,233,400	<5.0%>
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	394	1,884	12,243	1,870,219	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	394 1銘柄	1,884 1銘柄	12,243 1,870,219	<4.2%>
合 計	株 数・金額 銘柄数<比率>	5,434 24銘柄	25,312 23銘柄	40,500,476 40,500,476	<90.3%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	口 数	口 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	19	88	15,161	1,680,544	不動産
合 計	金 額 銘柄数<比率>	19 1銘柄	88 1銘柄	15,161 1,680,544	<3.7%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2020年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2020年7月1日に第2期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



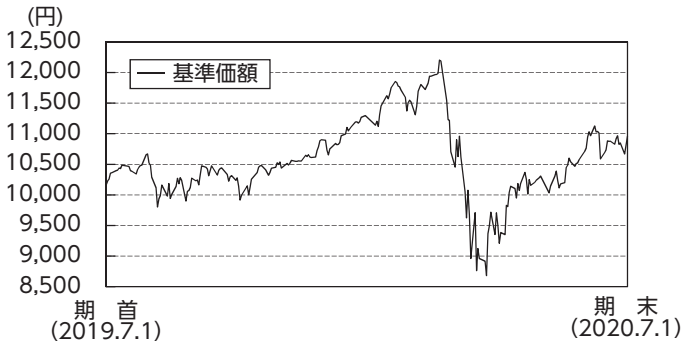
運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率			
(設 定 日) (2019年4月18日)	円	%		%	%	%	百万円
	10,000	—	10,000	—	—	—	746
1 期 (2019年7月1日)	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1	5,709
2 期 (2020年7月1日)	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8	13,833

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年7月1日	円	%		%	%	%
	10,166	—	9,805	—	88.7	3.1
7 月末	10,523	3.5	9,965	1.6	88.1	3.1
8 月末	10,273	1.1	9,473	△ 3.4	88.9	3.4
9 月末	10,237	0.7	9,775	△ 0.3	88.1	3.3
10 月末	10,539	3.7	10,150	3.5	85.8	3.2
11 月末	10,903	7.2	10,533	7.4	90.4	3.1
12 月末	11,297	11.1	10,847	10.6	89.0	3.0
2020年 1 月末	11,522	13.3	10,862	10.8	91.2	3.2
2 月末	10,706	5.3	10,007	2.1	90.5	3.4
3 月末	9,706	△ 4.5	8,512	△13.2	79.4	3.7
4 月末	10,278	1.1	9,330	△ 4.8	78.5	3.7
5 月末	10,608	4.3	9,726	△ 0.8	78.9	3.9
6 月末	10,814	6.4	9,913	1.1	77.2	3.8
(期 末) 2020年7月1日	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,166円 期末：10,959円 騰落率：+7.8%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。主として、情報技術（マイクロソフトなど）やコミュニケーション・サービス（テンセント・ホールディングスやアルファベット）及び一般消費財・サービス（アリババ・グループ・ホールディング）セクターでの組入銘柄の株価が上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市場

当期の先進国株式市場は、期首と比べて若干上昇しました。期初、米中貿易協議を巡る動向、米国での長短金利逆転を受けた景気後退懸念の強まりやパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の利下げ示唆発言などを受けた世界的な金融緩和期待の高まり、好調な米国企業業績などを受けて上下する中、概ね横ばいで推移しました。その後、2020年初にかけては、米中貿易協議での進展期待の高まり、英総選挙結果を受けたEU離脱を巡る不透明感の後退などを材料に、堅調に推移しました。しかし、新型コロナウィルスの感染拡大の本格化や原油価格の急落などを背景に、世界的な景気後退に対する警戒感が強まり、市場は2月下旬以降3月下旬にかけて一転して統落し、大きく値を下げました。その後期末にかけては、各国政府による経済対策や中央銀行による資金供給、ワクチン開発・実用化への期待などから再度上昇地合いとなり、続伸する展開となりました。

情報技術セクターでは、良好な決算に加え、新型コロナ禍での世界的な在宅勤務の広がりを背景とした職場向け協業アプリの利用者数急増などが好感され、マイクロソフトの株価が大きく上昇しました。コミュニケーション・サービスセクターでは、「巣ごもり需要」の拡大が主力のゲームなど娯楽関連事業やネット広告事業への追い風となり、20年1－3月期の決算が堅調となったテンセントやアルファベット、一般消費財セクターでは、大規模ネット通販セール「独身の日」の取扱高が過去最高を更新したことなどによる好調な決算、香港取引所でのIPO（新規株式公開）などが好感されたアリババなどの株価が大きく値上がりしました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、ボックス圏で推移し、概ね期首と同じ水準となりました。期初から2020年初にかけては、米中貿易協議の進展期待や米株高を背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まり、概ね円安米ドル高基調で推移しました。2月後半から3月末にかけては、一時、新型コロナウィルスの感染拡大や原油価格の急落、投資家による米ドル需要の高まりなどから、高値から安値までの幅幅が約10円となるなど値動きの激しい展開となりました。その後期末にかけても、新型コロナウィルスの感染拡大動向、各国政府・中央銀行による対応策を手掛かりとして上下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

引き続き、ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。長引く米中貿易協議は世界経済の成長を鈍化させ、同協議での交渉成立や各国中銀による緩和策では十分に対応し切れない可能性があることから、引き続き、株式市場動向については慎重な見方をしています。しかしながら、年内は低金利環境が続く、これまでである程度想定してきたインフレ高進を背景とする金利上昇リスクは著しく低下したと考えられることから、キャッシュ保有比率を引き下げ、低感応度銘柄群の比率を高める方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。期の前半には、中国での消費拡大の恩恵を受けると考えられる銘柄の積み増しや新規組み入れを行い、低金利環境が続くとの見方から金融銘柄を売却した一方、安定的な収益が見込まれ相対的な魅力が高まった公益事業銘柄を積み増しました。期の後半には、新型コロナウィルスの感染拡大を受け、株式市場を巡るリスクが高まっていると判断し、資産保全の観点から、主に高感応度（市場との連動性が高い）銘柄を売却し、保有するキャッシュの比率を高めました。一方、ディフェンシブな特性を持つ低感応度（市場との連動性が低い）銘柄の組み入れ比率は高めを維持した他、コロナ禍の社会変化が追い風となる銘柄の保有比率を引き上げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+7.8%、+2.7%となりました。

《今後の運用方針》

新型コロナウィルスの感染封じ込めの決め手となるワクチンや治療薬は開発途上で感染第2波のリスクが残っており、各国政府は経済活動と感染再拡大リスクとのバランスを模索している中、景気見通しの不透明性は依然高いと考えられます。今後の景気シナリオは、U字型の景気回復、または景気減速の長期化の可能性があるとみていますが、現段階ではどちらが有力か判断することは難しいと考えています。新型コロナウィルスをめぐる状況を踏まえ、株式市場の先行き不透明感は強いままであると判断し、資産の保全に配慮した運用を続けます。中長期的な保有銘柄の持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）に対する見方に変更はありません。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	7円 (7) (0)
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)
合 計	12

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2019年7月2日から2020年7月1日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル	
	4,525	61,583	2,363	33,482	
スイス	百株	千スイスフラン	百株	千スイスフラン	
	668	6,158	99	978	
イギリス	百株	千英ポンド	百株	千英ポンド	
	452	3,000	68	419	
香港	百株	千香港ドル	百株	千香港ドル	
	1,311	54,656	67	2,457	
ユーロ	ベルギー	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		166	1,264	227	1,042
	ドイツ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		268	3,040	99	1,119
	フランス	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		88	3,218	82	2,990
	オランダ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
		71	658	118	909
ユーロ 通貨計	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	594	8,181	528	6,062	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	20	3,093	3	462

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2019年7月2日から2020年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	14,042,875千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,239,192千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.93

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2019年7月2日から2020年7月1日まで)

(1) 株式

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	45	939,448	20,528	APPLE INC	20	553,152	26,955
TENCENT HLDG LTD	131	760,896	5,803	HCA HEALTHCARE INC	30	394,602	12,921
MICROSOFT CORP	33	604,212	18,207	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	8	355,899	43,034
ALPHABET INC-CL C	3	529,987	139,323	VISA INC-CLASS A SHARES	13	262,703	20,189
FACEBOOK INC-CLASS A	23	516,497	21,734	ORACLE CORP	38	232,622	6,089
EVERSOURCE ENERGY	54	489,744	9,053	ALPHABET INC-CL C	1	222,449	135,145
XCEL ENERGY INC	69	480,685	6,876	FACEBOOK INC-CLASS A	10	212,895	19,795
STARBUCKS CORP	53	462,718	8,606	MASTERCARD INC - A	7	211,415	29,597
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	45	400,630	8,853	MICROSOFT CORP	12	208,797	16,499
NOVARTIS AG-REG	41	392,290	9,460	STARBUCKS CORP	18	175,286	9,280

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROWN CASTLE INTL CORP	20	334,008	16,696	CROWN CASTLE INTL CORP	3	50,542	15,399

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2020年7月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル 千円	
AMERICAN EXPRESS CO	113	-	-	各種金融
APPLE INC	142	-	-	テクノロジー・ハードウェア機器
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	55	-	-	各種金融
YUM! BRANDS INC	189	398	3,461 374,261	消費者サービス
ESTEE LAUDER CO-CL A	29	118	2,239 242,128	家庭用品・パーソナル用品
LOWES COS INC	120	-	-	小売
MCDONALDS CORP	39	141	2,606 281,821	消費者サービス
MICROSOFT CORP	286	491	10,005 1,081,824	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	87	709	4,434 479,431	公益事業
ORACLE CORP	371	-	-	ソフトウェア・サービス
PEPSICO INC	103	214	2,836 306,648	食品・飲料・タバコ
STARBUCKS CORP	365	714	5,259 568,654	消費者サービス
CME GRP INC	25	-	-	各種金融
MASTERCARD INC - A	87	108	3,200 346,055	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	178	242	4,683 506,328	ソフトウェア・サービス
HCA HEALTHCARE INC	180	-	-	ヘルスケア機器・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	182	312	7,092 766,869	メディア・娯楽
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	-	379	8,190 885,610	小売
EVERSOURCE ENERGY	-	512	4,269 461,591	公益事業
ALPHABET INC-CL A	3	6	882 95,364	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	24	46	6,525 705,507	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	59	412	3,614 390,829	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,647 20銘柄	4,808 15銘柄	69,301 -<54.2%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン 千円	
NOVARTIS AG-REG	230	590	4,864 555,051	医薬品・ヘルスケア
NESTLE SA-REG	180	388	4,073 464,856	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	410 2銘柄	979 2銘柄	8,937 -<7.4%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル 千円	
TENCENT HLDG LTD	-	1,243	61,993 864,815	メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	1,243 1銘柄	61,993 -<6.3%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ 千円	
SAP SE	173	342	4,256 516,762	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	173 1銘柄	342 1銘柄	4,256 -<3.7%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ 千円	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	25	31	1,225 148,821	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	25 1銘柄	31 1銘柄	1,225 -<1.1%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ 千円	
HEINEKEN NV	46	-	-	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	46 1銘柄	- -	- -<-%>

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(ベルギー)	百株	百株	千ユーロ 千円	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	60	-	-	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	60 1銘柄	- -	- -<-%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	307 4銘柄	373 2銘柄	5,482 -
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド 千円	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	240	624	4,644 621,766	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	240 1銘柄	624 1銘柄	4,644 -<4.5%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,606 27銘柄	8,029 21銘柄	- -

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル 千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	12	29	4,897 529,517	不動産
合 計	金 額 銘柄数<比率>	12 1銘柄	29 1銘柄	4,897 -<3.8%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2020年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	10,664,999	73.8
投資証券	529,517	3.7
コール・ローン等、その他	3,249,866	22.5
投資信託財産総額	14,444,382	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.12円、1スイスフラン=114.11円、1英ポンド=133.87円、1香港ドル=13.95円、1ユーロ=121.41円です。

(注3) 当期末における外貨建資産（13,348,181千円）の投資信託財産総額（14,444,382千円）に対する比率は、92.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,955,885,049円
コール・ローン等	3,247,574,094
株式（評価額）	10,664,999,291
投資証券（評価額）	529,517,456
未収入金	511,651,457
未収配当金	2,142,751
(B) 負債	1,122,554,743
未払金	1,122,554,743
(C) 純資産総額(A－B)	13,833,330,306
元本	12,623,348,031
次期繰越損益金	1,209,982,275
(D) 受益権総口数	12,623,348,031口
1万口当り基準価額(C／D)	10,959円

* 期首における元本額5,616,108,301円、当期中における追加設定元本額8,826,361,288円、同解約額1,819,121,558円

* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド（分配型）（適格機関投資家専用）2,009,344,096円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）10,614,003,935円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.0959円です。

■損益の状況

当期（自2019年7月2日 至2020年7月1日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	93,634,861円
受取配当金	92,485,072
受取利息	1,149,789
(B) 有価証券売買損益	822,032,437
売買益	1,315,293,832
売買損	△ 493,261,395
(C) 信託報酬等	△ 3,807,963
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	911,859,335
(E) 前期繰越損益金	93,179,211
(F) 追加信託差損益金	439,253,035
(G) 解約差損益金	△ 234,309,306
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	1,209,982,275
次期繰越損益金(H)	1,209,982,275

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。